

# APTECニュースレター vol.16

平素は、APTECの事業にご支援を賜り厚く御礼申し上げます。今後もUNWTO及び観光関係各機関と連携し、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取組を推進してまいりますので、皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

## ○世界の観光動向・観光回復のシナリオ

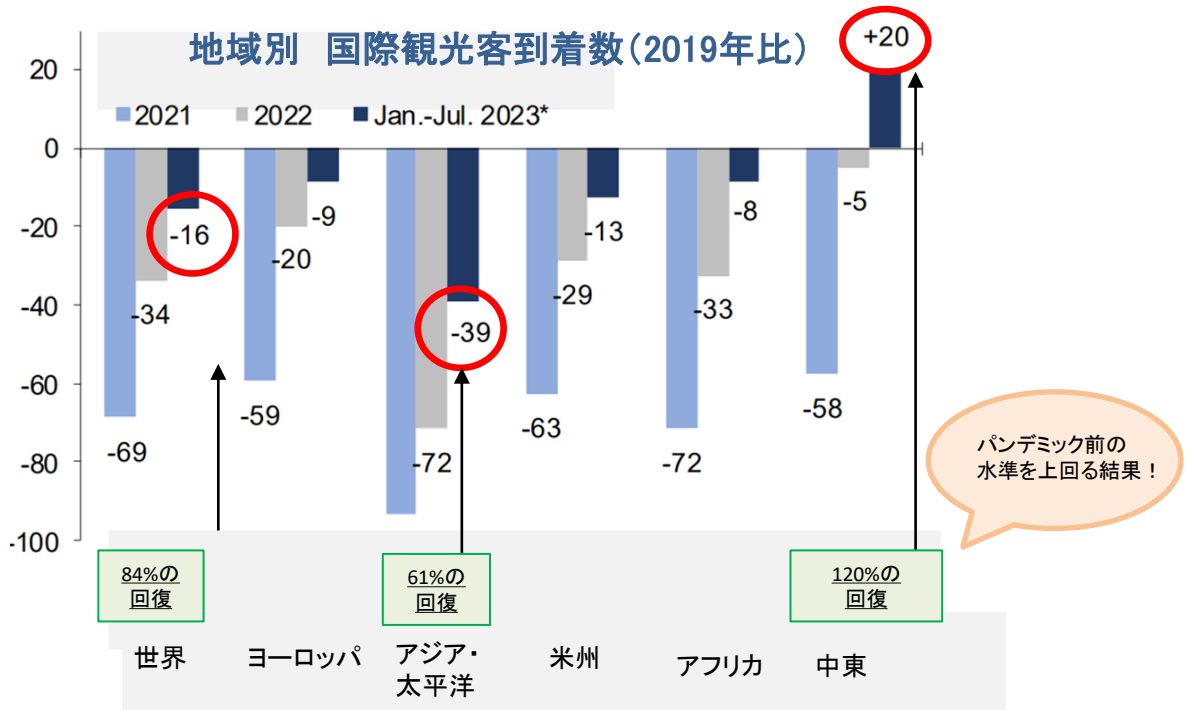
UNWTOは、世界観光指標(World Tourism Barometer)やダッシュボード(UNWTO TOURISM DATA DASHBOARD)等の公表を通じ、観光動向の調査や、今後の見通しとして2023年の回復シナリオなどについて発信しています。

## ◆2023年の主要事項(世界観光指標9月号より)

### 全体

(出所: UNWTO World Tourism Barometer Volume 21, Issue 3, September 2023)

- ・2023年1月～7月の国際観光客到着数は、いくつかの大規模な送客市場(ソースマーケット)からの需要にけん引され、世界の全地域で力強い回復を見せた。
- ・国際観光客到着数は7月末までに、パンデミック前の水準の84%に達した。
- ・2023年1月～7月の国際観光客到着数は7億人となり、2022年同期比で43%増となった。
- ・7月は国際観光客到着数が最も多く、1億4,500万人となり、7か月間の総数の約20%を占めた。



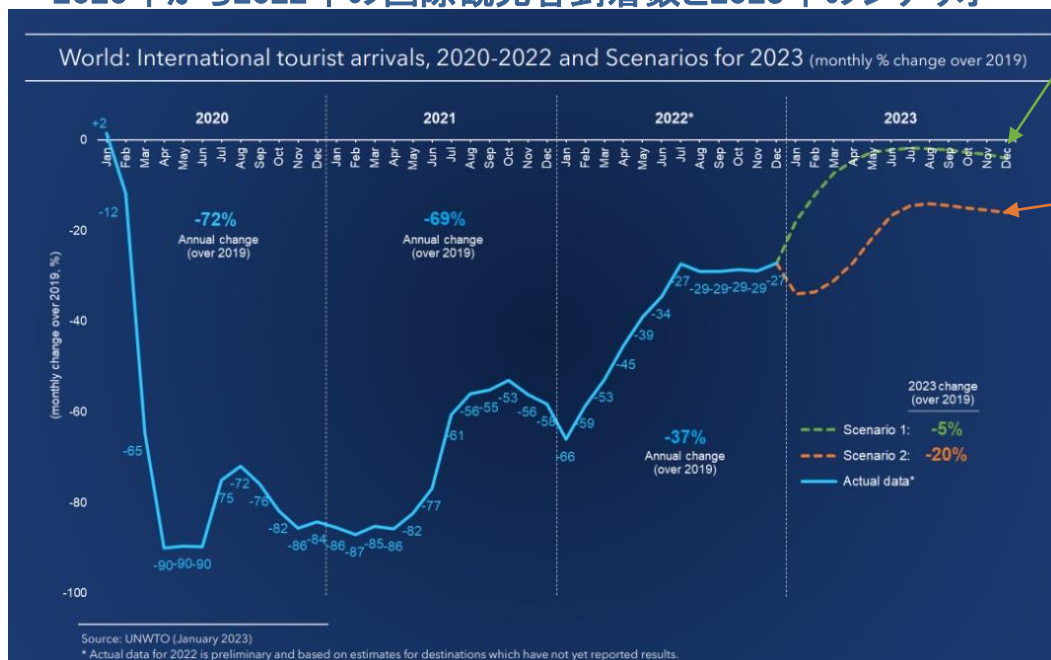
### 地域別

- ・中東は、2023年1月～7月の国際観光客到着数がパンデミック前の水準を20%上回った。
- ・ヨーロッパは世界最大のデスティネーションで、堅調な域内需要と米国からの渡航に支えられ、パンデミック前の91%の水準に達した。
- ・アフリカは7か月間でパンデミック前の92%、米州は87%の回復となった。
- ・アジア・太平洋では、2022年末から2023年初めにかけて多くのデスティネーションやソースマーケットが国境を開放し、パンデミック前の水準の61%まで回復が進んだ。

## ◆今後の見通し(世界観光指標9月号より)

- ・国際観光が引き続き順調に推移し、2023年にパンデミック前の80%~95%の水準に達する見込みを示している。
- ・中国をはじめとする他のアジアの国・地域が国境を開放したことで、アジア地域だけでなく世界各地への旅行が今後も増加すると予想される。
- ・UNWTO専門家委員によると、2023年の国際観光の効果的な回復にとって、厳しい経済環境は引き続き致命的な要因となっている。
- ・長引くインフレと原油価格の高騰は、輸送費や宿泊費の上昇につながっている。このため、観光客はより費用対効果を求め、自国に近い場所で、短期間の旅行をするようになると予測されており、年内の消費パターンに影響を及ぼす可能性がある。

### 2020年から2022年の国際観光客到着数と2023年のシナリオ



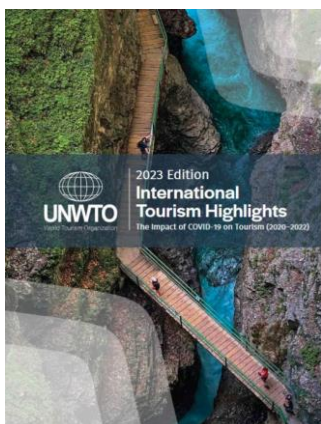
・シナリオ1では  
-5%まで回復

・シナリオ2では  
-20%の回復に  
とどまる

詳細情報をご希望の方はご連絡下さい。

【お問い合わせ先】E-mail : [info@unwto-ap.org](mailto:info@unwto-ap.org) / TEL : 0742-30-3881 (代表)

## ツーリズムハイライト(2023年)を発表しました



3年ぶりに発行となる今号は、2020年~2022年のCOVID-19が観光に与える影響についてまとめた内容になっています。

### ツーリズムハイライト(2023年)目次

- 主な洞察
- パンデミック以前の観光: 成長と発展の原動力
- 2020年: 世界の観光にとって過去最悪の年
- 2021年: 観光にとって再び困難な年
- 2022年: 規制緩和による力強い回復
- パンデミックの経済的影響
- 地域別実績(ヨーロッパ、アジア・太平洋地域、米州、アフリカ、中東)
- 世界上位のデスティネーション(国際観光客到着数・国際観光収入)
- アウトバウンド・ツーリズム
- パンデミックにおける消費者行動の変化
- 旅行の目的と交通手段
- 統計資料
- 方法論的記述

ダウンロードは、こちらから  
<https://unwto-ap.org/topics/hl2023/>

## ○持続可能な観光アーカイブ最新情報

2022年度に開設した持続可能な観光アーカイブでは、**43件(2023年9月末現在)**の事例を提供いただいています。APTEC会員の皆さまや、事例をご提供いただきました皆さまは、全ての事例をご覧いただくことが可能です。是非、持続可能な観光アーカイブにアクセスいただき、様々な事例をご覧ください。

アクセスはこちらから  
<https://aptec.or.jp/system/>

### 2023年度に新たに提供いただいた7つの事例をご紹介します！

#### 岐阜県下呂市：下呂市エコミュージアム構想

一般社団法人下呂温泉観光協会

全国に先駆けてエコツーリズム(E)とマーケティング・マネジメント(DMO)による「E-DMO」を中心としたサステナビリティへの施策を推進。地域全体のサステナビリティ向上の好循環な仕組みを構築。



#### 香川県丸亀市：次の400年を考える、サステナブルなまち「丸亀」

丸亀市

丸亀DMOのメンバーを中心に、市の主要な観光コンテンツである、「丸亀城」(国の重要文化財で現存木造天守)と「丸亀うちわ」(国の伝統的工芸品)を筆頭に様々な観光素材を持続可能にするべく、事業展開。



#### 香川県小豆郡土庄町：持続可能な島・小豆島

土庄町

漁業の活性化や、オリーブを活用したブランド牛の育成、農村歌舞伎の伝承など、先人が残した島ならではの自然・文化、景観を後世に伝えるために、2022年から持続可能な観光のための体制を構築。



#### 山梨県北杜市：地域資源を活用したサステナブルな未来創造の取組

一般社団法人八ヶ岳ツーリズムマネジメント

“自然とのファーストコンタクトの場”を適切に創出するサステナブルな観光コンテンツをモデル的に造成し、「共創型」コンテンツのノウハウを蓄積。住民自らが誇れる豊かな地域になることを目指す。



#### 岩手県遠野市：持続可能な観光まちづくり体制の構築への一歩

株式会社遠野ふるさと商社

旅行形態の多様化や環境変化に対応した新たな観光スタイルの提案が必要であることから、観光・文化・産業振興を推進している事業者を選出し、新たな観光地域づくりに向けワーキング会議を開催。



#### 長崎県佐世保市：一ハostenボスー 環境未来都市の「水」への取組み

ハウステンボス株式会社

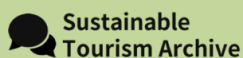
日本一広いテーマパークであるハウステンボスは、単なるテーマパークではなく持続可能な開発を実践することにより未来の理想的な街を作ろうとしている。環境未来都市の「水」への取組。



#### 長崎県雲仙市：サステナブル・コンテンツをめぐる滞在交流型観光

くにみツーリズム協議会

人口減少等でさびれつつある町の再生を目指し、地元有志がまちづくり団体を組織。植樹や手作り看板など、統一景観づくりなどに取り組んできた。また、町を楽しむコンテンツや仕組みづくりを行う。



英語版 持続可能な観光アーカイブ のウェブページが完成しました

2023年8月に開設した英語版 持続可能な観光アーカイブでは、皆さまからご提供いただきました事例を海外に向けて発信しています。

事例の詳細、その他の事例はこちらからご覧いただけます。

<https://en.aptec.or.jp/system/>



# ○APTEC賛助会員・UNWTO賛助加盟員 合同セミナーを開催しました

APTEC賛助会員様とUNWTO賛助加盟員様が一堂に会する形式で、はじめて合同セミナーを開催しました。



- ・日 時： 2023年8月8日(火) 15:00～16:30
- ・場 所： ベルサール東銀座会議室
- ・主 催： (一財)アジア太平洋観光交流センター
- ・参加者： 53名

本保理事長(UNWTO駐日事務所代表兼務)の開会挨拶の後、昨年10月のAPTEC賛助会員様限定ウェビナー以降にご入会いただいたなかから(公財)東京観光財団様、(株)マップトラベル様から活動内容等を紹介いただきました。今回の合同セミナーでは、本年3月にUNWTOスペシャルアドバイザーにご着任いただいた平松賢司様に「UNWTOと日本」をテーマにご講演いただきました。

UNWTOの本部が所在するスペインの元特命全権大使としてのご経験等を踏まえ、日本がUNWTOをどのように活用していけばよいか、また、持続可能な観光の考え方や地域での進め方等について、海外事例も交えてお話しいただきました。UNWTO本部が日本に期待する役割から、観光とSDGsの関係、日本における持続可能な観光の可能性など様々なご示唆をいただく大変貴重な機会になりました。

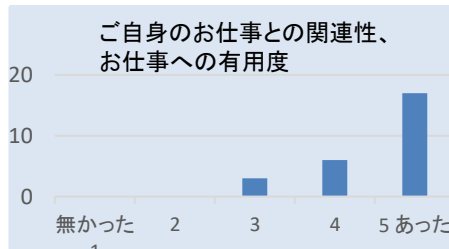
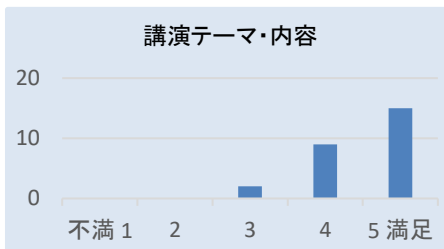
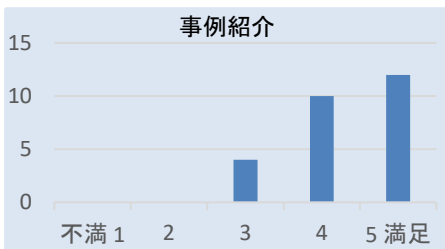
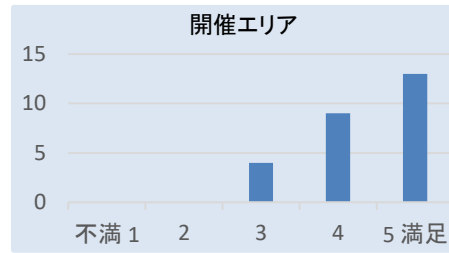
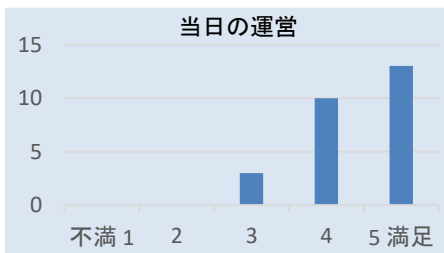
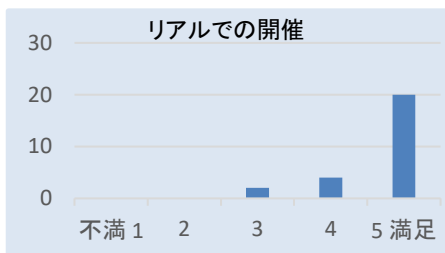
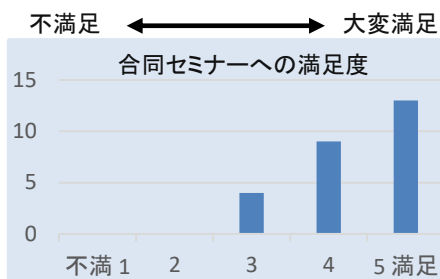
ご参加いただいた方々に情報交換をしていただくネットワーキングの時間も設けました。

## APTEC賛助会員・UNWTO賛助加盟員 合同セミナー アンケート結果

<参加者業種> ※アンケート回答: 31名



- 観光団体・旅行業
- 鉄道・航空・交通関係
- ホテル・旅館
- 教育機関
- 行政機関



<参加者意見>

- ・持続可能な観光についての世界での取り組み、動向について最新の知見が得られたことがよかった。
- ・海外3カ国の実情やUNWTOの活用方法など勉強になった。
- ・UNWTOによる持続可能な観光の進捗状況や今後のあり方についても多くの示唆を得ることができた。
- ・このような機会は大変貴重なものなので、今後も参加したいと思う。
- ・今回のように世界の事例や取り組みに向けた指針のお話を扱っていただきたい。

# ○ベトナム北部で「観光を活用した持続可能な地域経営」に係るセミナーを開催しました



- ・日 時 : 2023年6月8日(木) 8:30~13:00
- ・場 所 : ベトナム国ニンビン省ニンビン市 The Ninh Binh Legend Hotel
- ・主 催 : UNWTO駐日事務所、(一財)アジア太平洋観光交流センター
- ・協 力 : ベトナム国家観光局(VNAT)、ニンビン省
- ・参加者数: 52名
- ・対 象 : (地方)政府関係者、観光関連事業者
- ・目 的 :
  - ・持続可能な観光地域経営の意識醸成
  - ・UNWTOの取組と日本の先進事例の共有
  - ・ベトナム国内のケーススタディの紹介
  - ・グループディスカッションを通じた情報共有



前半のUNWTOによるプレゼンテーション、「Introduction of “Sustainable Area Management Using Tourism”」では、UNWTOの取組を紹介すると共に、持続可能な観光の重要性と取組のステップや、それを実践する沖縄の事例を紹介しました。

また、ベトナム国家観光局によるプレゼンテーション「Good Practice of “Sustainable Area Management Using Tourism” in Vietnam」では、ベトナム国内の参考となるケーススタディとして3地域(ライチャウ省、クアンビン省、クワンナム省)を挙げ、各地域の取組を共有しました。



後半のグループディスカッションも活発に行われ、各グループからは以下のような課題が挙げられました。

- インフラの整備
- 環境問題に対する意識
- 能力のある観光人材の不足
- 観光商品開発

今後、各課題に対して地域としてどのようなアプローチを取るべきか、現地ワーキンググループなどを立ち上げて、取組を推進していくことが期待されます。

本セミナーには来賓としてニンビン省観光局長のご臨席をいただき、閉会の挨拶では「今後も省内各地域でこの取り組みを促進していきたい」とのお言葉をいただきました。

ベトナム国内における持続可能な観光に対する取組に対して支援を続けてゆきたいと考えています。



## ○ 講演・講義の実績

	実施日	主催者	テーマ
1	2023/4/26	同志社大学 日本語日本文化教育センター	UNWTOの取組と持続可能な観光
2	2023/5/15	<a href="#">モンゴル自然環境観光省</a>	モンゴル日本観光フォーラムにおける 海外の持続可能な観光事例について
3	2023/5/17	京都産業大学	国際的な観光動向及び 持続可能な成長に向けた取り組み
4	2023/6/14	JICA	Impacts of COVID-19 to Tourism and UNWTO Recovery Measures
5	2023/6/15	NPO観光情報流通機構	持続可能な観光地域経営
6	2023/7/3	奈良県立大学	持続可能な観光～観光とSDGs～
7	2023/7/3	追手門大学	UNWTOと持続可能な観光
8	2023/7/10	立教大学	UNWTO and Sustainable Tourism Development
9	2023/7/14	大阪成蹊大学	持続可能な観光を通じた 地域での課題解決について
10	2023/7/21	JICA	Impacts of COVID-19 to Tourism and UNWTO Recovery Measures
11	2023/8/1	名古屋外国語大学	旅とSDGs
12	2023/8/1	名古屋外国語大学	ガストロノミーツーリズムの意義
13	2023/8/3	名古屋外国語大学	学生の発表に対するフィードバック、講評 グループワークの巡回指導
14	2023/8/4	畷傍高等学校	UNWTOと持続可能な観光
15	2023/8/21	JICA	Human Resource Development for Creating Tourism Destination for Sustainable Tourism
16	2023/9/20	名城大学	UNWTOと持続可能な観光

講演・講義の講師派遣をご希望の場合は、UNWTO駐日事務所webサイトをご覧ください。  
<https://unwto-ap.org/tutor/>



## ○UNWTO出版物(日本語版)のご案内: 現在作成中の出版物について

現在、2つの出版物を作成中です。完成次第、ウェブサイトで公開し、連絡窓口のご担当者様にもお知らせいたします。

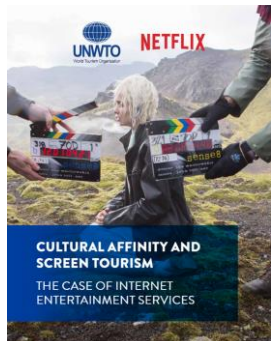


### 「自然エリアでのアクセシビリティの確保とインクルーシブ・ツーリズムの開発状況～優良事例集～」

UNWTO賛助加盟員から集められた優良事例を紹介し、自然エリアにおけるアクセシビリティの向上や、障害者がこれらの地域へ旅行できるようにするためのプロジェクトの設計や施作を解説。公的・民間部門のすべての観光関係者を対象に、誰もが自然を楽しめるように、自然地域におけるアクセシビリティに重点をおいた観光商品とサービスを見出す方法について、重要なポイントを示しています。

#### 事例: アクセシブル・ツーリズムを広めるブルーフラッグのプログラム

ブルーフラッグは、ハード面でのバリアを解消するため「各自治体の少なくとも一つのブルーフラッグ認証ビーチに、身体障害のある人のアクセスを確保し、利用できる設備を設けること」という必須基準を導入した。例えば、スペインのフェレリエス(Ferries)では、障害者でも水中で楽しめるよう水陸両用松葉づえを提供している。



### 「文化的親和性とスクリーン・ツーリズム ～インターネット・エンターテインメント・サービスの事例～」

本レポートは、従来のスクリーン・ツーリズムの概念を超え、映画やテレビシリーズのオンライン配信が、各国や地域コミュニティ間の文化的結びつきを強化すると同時に、2030アジェンダの柱である観光を促進する方法を探求しています。また、スクリーン・ツーリズムの社会的、経済的、文化的利益を最大化する最善の方法について焦点を当て、政策立案者と民間企業の両方に、文化や伝統を促進するためにインターネット・エンターテインメント・サービスを活用する方法について提言しています。

『他国や他文化のコンテンツの視聴者はその地域に旅行する可能性が高い。』※アンケート結果(一部抜粋)  
・日本のコンテンツを視聴しているドイツのNetflixユーザーは、日本が1位の旅行先であると回答する傾向が2倍高い。  
・Netflix利用者の68%が『クィア・アイ in Japan! Queer Eye: We're in Japan!』を視聴した後に日本のファッションに高い関心を示している。

## UNWTO刊行物日本語版



UNWTO刊行物の日本語版は、こちらからご覧いただくことができます。

<https://unwto-ap.org/document/unwtopublicationsjp/>

### お詫びと訂正

APTECニュースレターvol.15(2023年3月発行) P.1の平松UNWTOスペシャルアドバイザーご就任の記事にて、平松様のプロフィールに誤りがありました。

誤) 2022年7月から(株)日本総合研究所国際戦略研究所理事長

正) 2022年12月から(株)日本総合研究所国際戦略研究所理事長

会員の皆さま並びに関係者の皆さまにご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

※APTECニュースレターで使用している写真や画像の使用及び転載はご遠慮ください。